

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	TP53 signature 診断法による前立腺がん予後予測に関する観察研究
	研究目的	高齢化社会の進行に伴い前立腺がんの患者数はますます増加傾向を示すことが予測される。この研究では、代表的ながん抑制遺伝子である p53 が係わる現象に着目して、その、予後予測因子としての有用性を検証し、最終的には体外診断薬の開発を目的とする。
	研究期間	2016年9月8日から2021年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	泌尿器科、病理診断科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	東京大学医科学研究所・抗体ワクチンセンター 教授 醍醐弥太郎 順天堂大学医学部附属順天堂医院・腫瘍内科 教授 加藤俊介